

開催日時：平成 28 年 8 月 2 日（火）午後 7 時～8 時 35 分

場 所：住吉本宿公民館

出席者：13 名

《フリートーク（意見交換）》

- 1 県央地域定住自立圏構想について
- 2 企業進出におけるメリットについて
- 3 雇用の実態について
- 4 行政区長の配布物について
- 5 鷺の巣について
- 6 犬の飼い主のマナーについて
- 7 これからの生活スタイルについて
- 8 市配布物の統一化について
- 9 配布物の方向性について
- 10 市立病院の位置づけについて
- 11 マイナンバー通知カードの返戻数について
- 12 地域交流センターの使い方について
- 13 北川根地区で開発の話があるかどうかについて。

1 県央地域定住自立圏構想について

【意見等】

県央地域定住自立圏構想について伺う。10 月までに結果をまとめるとのことだが、笠間市としてどのようなメリットがあるのか。

【回答】

総務省が全国的な見地から推進している施策で、笠間市、水戸市、ひたちなか市、那珂市、小美玉市、大洗町、茨城町、城里町、東海村の 9 自治体で枠組みを作りました。一つの自治体でサービスを行うよりも効果が出るとの考え方からです。9 自治体全部で行うものもあれば、笠間市と水戸市など 2 自治体で行うものや、3 自治体で行うものなどもあります。何ができるか検討するために集まりました。

例えば、職員研修、観光施策、医師の確保などは 9 自治体全部で行います。他には、二つ、三つでやった方がいいものもあります。また、8 自治体が取り組んで、笠間市が行わないものは、産婦人科の関係です。行わない理由は、県立中央病院に産婦人科があることや根本産婦人科医院があるからです。他市と取り組むより、両医療機関と連携した方がメリットを生み出せるのではないかとこの考え方です。この取り組みをすることで、水戸市は 8,000 万円、その他は

1,500万円の国費が入ってきます。そういうことでスタートしました。

もう一つは、県央地区がまとまることで、つくば地区に対抗するわけではありませんが、同じように共に発展していこうということからです。

2 企業進出におけるメリットについて

【意見等】

茨城中央工業団地笠間地区にはジャパンテック、畜産試験場跡地にはモノタロウという大きな会社が進出した。そういった中で、固定資産税の優遇措置などがあるが、市としてどの程度のメリットが出てくるのか。

【回答】

企業進出による効果は、財政面、雇用面、住まいを求めるなどの消費喚起の効果がああります。進出企業の固定資産税は優遇措置を講じているので3年間は免除となり、市の歳入にはなりません。しかし、6年ぐらいで財政面の効果が現れるのではないかと思います。先ほど述べた、財政面以外の効果が現れます。

3 雇用の実態について

【意見等】

モノタロウは従業員の募集を行っているようだが、実際に雇用されているのか。

【回答】

今は、幹部従業員の募集をしています。一般従業員はこれからだと聞いています。大きな建屋を立てていますが、半分は機械でオートメーション化し、残りの半分は人が働く部分だと聞いています。

4 行政区長の配布物について

【意見等】

区長制度は必要であると考えます。しかし、私は仕事をしていて、区長の集まりがあっても出席することができない。

また、私の区は100世帯ある。総務課に配布物を区長ではなく班長にしてはどうかと言ったが、難しいとの答えだった。住吉地区はこれから50歳代が区長を務めることになる。配布物の量と回数をぜひとも減らしてもらいたい。他の区もそうだと思う。

【回答】

行政区長制度は、情報伝達と住民要望の収集には必要な制度で、他の自治体でも同じような制度があります。市としては、区長制度はこのまま維持していきたい考えです。区長にも、現役で仕事をしている人、女性、高齢者などがいて同じ意見が出ています。私としては時代に合わせて変えて行くべきとも思っ

ています。区長にタブレットで情報を伝達したり，スマートフォンに情報を流したり，何らかの対策をしなければならないことは分かっていますので，負担のかからないやり方をしていきたいと思います。

しかし，配布物を班長に直接配布となると，現在も区長が 340 人ぐらいいらっしゃるので，班長だと何千という人数になると思いますので，現状維持のご理解をお願いします。

5 鷺の巣について

【意見等】

住吉地区には鷺の巣がある。ひどい臭いとすごい鳴き声だ。それに対して市の考えはどうか。

【回答】

鷺の件は，最近になって私の耳に入りました。どういう状況か見てきましたが，ひどい状況です。市は保護鳥獣となっていることから駆除することに関しては，難しい立場です。担当課としては，「山林の地主に対応を」と言ったと思いますが，地主には責任がありません。8 月にはふ化して飛び立つとのことですが，まずは事例を調べてみます。巣になっている山林の樹木を伐採すれば解決しますが，今度は違うところに巣をつくります。樹木を全部は切れないですし，何らかの対応を考えていきたいと思います。

6 犬の飼い主のマナーについて

【意見等】

犬の飼い主のマナーが悪い。散歩させているときに，私の自宅の前にフンをさせて，持ち帰らないで行ってしまう。防災行政無線で時々それらに関することを放送してもらえないか。

【回答】

私も散歩しながらそのようなシーンを良く見かけますが，実際に処理しているどうかはわかりません。広報紙でお伝えしていますが，最終的には飼い主のマナーの問題になってくるかと思います。ただ防災行政無線を使ってというわけにはいきません。とにかく広報をしっかりと行っていきます。

7 これからの生活スタイルについて

【意見等】

空き家バンク制度があるが，私は今住んでいる家を空き家にしたい。一人暮らしで，家も地震で壊れたところがある。これからの考えると市営住宅がいいのかと思っている。でも周りの皆は自分の家に住んでいた方がいいと言う。であれば，家を修理して，同居してくれる人がいたらいいと思っている。

【回答】

一人暮らしの人が増えてきて、同じような人がいます。市では、直せば使えるのは空き家バンクに登録を進めています。笠間に家を借りたい人が結構います。市が仲立ちして成立した事例もあります。

今のお話は、家が大きすぎて他の人に貸したいということですね。田舎では少ないが、このスタイルは増えています。ただ、良く知らない人との同居はリスクがあります。昔からあるのは学生に貸すパターンですね。共同で住むという形を考えていくべきとも思います。

私も自立できるまでは、自分の家に住んだ方がいいと思います。空き家に関することは都市計画課が担当になります。明日、秘書課が担当に伝えます。

8 市配布物の統一化について

【意見等】

市民への配布物を一つの大きな冊子に出来ないか。区長手当を削減してもいいので配布物を班ごとにならないか。広報紙はあんな良い紙質でなくてもいい。

【回答】

例えば、市と社会福祉協議会の配布物を一緒にするということですか。配布時期が違いますし、統一は難しいです。

班ごとに配布するとなると、班ごとに仕分けしなければなりません。アルバイトを雇わないとできないと思います。職員で行うとなると、職員数も削減していて難しいことですが、認識しておきます。広報紙については、どのようにするといいのか考えていきます。

9 配布物の方向性について

【意見等】

市民への配布物に関しては、広報かさまお知らせ版のボリュームを増やして、配布物を減らす方向だと言われたがどうか。

【回答】

どこまで情報を提供すべきか。どこまで見ていただいているのか、いないのか。現在は、ホームページ、SNSを併用して情報を伝達していますが、情報伝達の一本化までは行っていません。徐々に集約するというのは必要だと思います。

10 市立病院の位置づけについて

【意見等】

県立中央病院から紹介された笠間市の市民が常陸大宮市の済生会病院まで来ている。入る場所がないのだと思う。

友部地区には特別養護老人ホームがあるが、入所することができない。市立

病院は何をやっているのかわからない。笠間市民が笠間の特別養護老人ホームに優先的に入っていただく方策は無いのか。家族の方が、常陸大宮まで行くのは大変だ。

【回答】

現在は、リハビリの必要がない人は市立病院に紹介されています。そのため、市立病院の経営が良くなりました。計画している地域医療センターかさまは、リハビリの機能を盛り込みますので、リハビリの必要な方の受け皿になると思います。

特別養護老人ホームの定員などは、他の自治体もいっぱいです。今度制度が変わるのでもう少し緩和されると思います。基本的に地元自治体の市民が優先的に入所していると思います。家族のことを考えると近くに入所した方がいいと思います。県立中央病院も、その人に、何が必要なのかで紹介しているものと思います。

11 マイナンバー通知カードの返戻数について

【意見等】

マイナンバーカード通知カードは笠間市で戻ってきたのは何通か。

【回答】

今現在で、500 通程度と思います。

12 地域交流センターの使い方について

【意見等】

一般市民がどういうふうにするのか。社会福祉協議会のボランティアセンターはもう手狭だ。

【回答】

誰もが利用できます。ただ、ある一定の団体が定期的にはありますが、継続的に使用するというのは考えていません。庭で、農産物などの朝市、常識の範囲内でアルコール飲料の販売も可と考えています。運営は指定管理者制度で行います。運営の意見反映を行うために地元区長も入った運営協議会で決めていきたいと考えています。

13 北川根地区で開発の話があるかどうかについて。

【意見等】

住吉地区には、過去にイオンや住宅開発の計画があったが撤退となっている。北川根地区で何か開発の話は聞かないか。

【回答】

分かりません。過去にイオンの話がありました。公共施設はもう間に合っていると考えています。古いものをどう活用するかなど節約型と思っています。公共事業イコール活性化というのは難しいです。時代に合わなくなっているのかと思います。民間は儲からないところは進出しませんし、人口が集中しているところに行ってしまう。

これからは、生活のレベルを維持していく。日常生活の安定を確保していくことが大事だと思います。大きな道路、新たな道路はもう足りていると思っています。生活道路の維持、草刈りなど、いずれこちらにウェイトを移していくことになると思います。